

2/16 3:30

局に治療や薬の対価として支払われる診療報酬の2020年度の改定内容が決まりました。岸田文雄政権は診療報酬総額を「マイナス改定」にしたため、外来や入院など個々の報酬も現場の切実な要求に応じたえなく厳しい中身となりました。新型コロナウイルス感染拡大で浮き彫りになった日本の医療体制の問題点は改鑑されず、脆弱化した拍車がかかる危機があります。国民の命と暮らしを守る医療を構築するために、現場の実情に合わない報酬改定を改鑑せねばなりません。診療報酬総額を大幅に引き上げることが必要です。

主張

診療報酬の改定

を22年度予算案で決めました。診療報酬引き上げは10回連続です。総額マイナス改定の下で、0円で決められた個別の改定項目にもおこなわれています。

医療現場の疲弊打開できない

療が拡大して以降、初めての改定です。2年にわたるコロナに直撃された医療機関を支えるため、診療報酬総額の引き上げを求める声が現場からは相次いでいました。

しかし、岸田政権はその願いに逆らって、マイナス改定となってしまいました。

一般的の診療所としてはハーメル
が高い要件となります。加算
点数も不十分です。多くの医療機
関が争うる悪化に感染の疑いを前
提に対応してくる中で、医療機関
を要件で差別化するやつは現場
の実態とかみ合いません。PCR
が算定できなくなる病床が生ま
れ、医療機関は大幅減収になる懸
念があります。医療現場からは、
「ロナ対応」も医療が主目的な
の声が上がりつつあります。看護体
制の縮小促進につながる問題もあり
ます。狙いは病床削減です。手
順に医療とは逆行し

きだった「オンライン診療」の初診利用も恒久的な措置にしまして。触診や聴診ができないままオンラインで診察する「」は不安が残ります。医療の安全を圖き去りにしてはなりません。

検査の報酬も大幅に引き下げたままであります。コロナの教訓に学んだ感染症対策とはいえません。

救急・手術などに対応する急性期病床の認定基準を厳格にします。患者の重症度を測る項目から「心電図モニター管理」を削除しました。そうなると、それまで認めた局で同じ処方箋を1回まで出す「リフィル処方箋」の導入は医療費削減の狙いかからです。受診回数を減少させる方向に誘導したい財務省などの要求で、十分な議論もなく決められました。長期処方に

きだった「オンライン診療」の初診利用も恒久的な措置にしました。触診や聴診ができないままオンラインで診察するよりは不安が残ります。医療の安全を図るためにしてはなりません。